

地域活性化伝道師プロフィール		分野		地域産業・イノベーション・農商工連携	農・林・水産業
		地域医療、福祉・介護、教育		〇	〇
		地域コミュニティ・集落再生		◎	〇
		地域交通・情報通信		〇	◎
ふりがな		あんどうしゅうじ			
氏名		安藤 周治			
所属	名称	①特定非営利活動法人ひろしまね ②特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター			
	役職	①理事長 / ②表理事			
連絡	住所	(公開)	〒 728-0123		(職場)
		(公開)	広島県三次市作木町(奥備後作木)		
	連絡先	(公開)	E-Mail sand[アットマーク]pl.pionet.ne.jp		
		(公開)	TEL 090-4149-6389	FAX -	
連絡方法	E-Mailでお願いします				
略歴	<p>1970年作木未来会議立ちあげ 会長 1990年中国・地域づくり交流会 代表幹事 1982年過疎を逆手にとる会発足 会長 2000年国土庁(現総務省)過疎問題懇談会 構成員 2002年ひろしまNPOセンター 代表理事 2010年国土交通省水の里の旅コンテスト 審査委員長 2013年ひろしまさとやま未来円卓会議 委員 2019年総務省過疎地域等自立活性化推進交付金事業評価委員 2020年旧JR三江線代替交通検討委員会 委員 2022年広島県河川整備基本方針等検討委員会 委員 2023年国土交通省水源地域未来会議 構成員</p>				
著作・論文等	<p>全国まちづくり集覧(共著)有斐閣 人が輝くまちが輝く(共著)第一法規出版 論文「広島発ひろしまね風「もう一つの役場」のすすめ」コミュニティ政策3 論文「行政をまきこんだ地域づくり」コミュニティー政策</p>				
取組概要	<p>現場を歩く ことで、地域課題や解決策も見えてくるのではないだろうか。 平地の少ない地域河川流域での水防災事業「垂直かさ上げ」による「盛り土方式」の提案で「特定河岸地水害対策事業」、現在は「水防災対策特定河川事業」の実現のきっかけをつくり、10年かけて実現した。地域内8カ所で同様な防災工事が完了している「悉皆調査」の重要性など聞き取り調査を重視した「巡検」を薦める。聞き取りの中から「補助金制度ではなく補助人制度を」との提案から、「集落支援員制度」、「地域おこし協力隊制度」が、具体化実現した。 中国地方初で全国に点在する「道の駅」の拡充の取り組みでは、データの重要性や「社会実験」の必要性を「拡充運動」の中で締着することができた。 市民活動全般、地域づくりに関する講演、調査研究、意見集約、地域思考計画などへの提言、アドバイスなど各地ですすめている。</p>				
メッセージ	<p>「あるく みる きく」の現場第一主義、それは民俗学者宮本常一の考えでもある。民俗学は地域づくり運動にとって一番参考になる手法、思想を持った学問であろう。と特定非営利活動法人ひろしまねでは考えて既に20年以上にわたり月に1回「我聞塾」を開き、民俗学の手法により地域の捉え方、発想の在り方などを学び続けている。江の川流域を中心にしながら、中国地方全域にわたるネットワークを持ち、幅広く自在の支援活動なども「ひろしまね」を中核にして展開を続けている。</p>				
関連ホームページ	特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター https://npoc.or.jp/ 特定非営利活動法人ひろしまね https://npoc.or.jp/	活動 エリア	全国		

※ 公開できる情報のみ掲載しています。

※ 依頼・相談等に伴う謝礼等条件につきましては、双方協議の上、決定してください。

※ メールのお返事は、[アットマーク]を@に置き換えて行ってください。